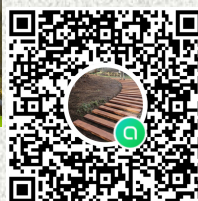


小日台ビオトープ新聞

2023年号
10月号

親子で生き物探しにいらつしやい！
メンバー募集中活動日
第1・3土曜午前
第2・4日曜午前

オープンチャット



参加コード
kobio

ビオトープ水族館開業

タイル水槽復活 メダカ飼育展示

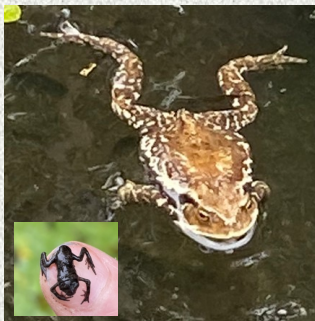


何年も放置されていたタイル水槽をビオトープメンバーの手で掃除。漏れを補修、ペンキを塗って水草とメダカを投入。エビ・タニシなども後に続き、にぎやか。

カエルの大冒険

オタマジャクシ無事成長

タピオカ！と思つてたらカエルのタマゴと驚いたのがつい最近の事なのに、あつという間にオタマジャクシが大量発生。



食べられないように一生懸命生きて、気づいたら池の周りに小さなカエルがいっぱい。親ガエルほど顔はイカツくないし、体のサイズもまだ指にチヨイ乗りする程度だが、可愛らしい姿にカエルが苦手の方でも虜になること間違いなし。

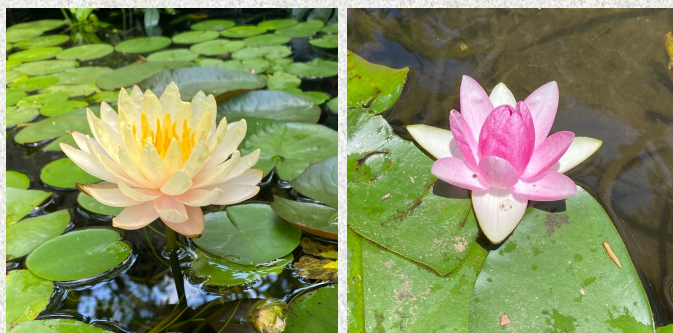
ヒバカリも名ばかり



えーへび出るとかマジ無理ーと思つてゐるそのあな。噛まれたら「日ばかりで死ぬと長年思われていたへびがなんと無

世界的巨匠がかつて描いたあの風景が目の前に。友の池に浮かぶ睡蓮が満開。つぼみだつた時からまだかと待っていた甲斐があつて、なんとも美しい花が咲いた。

モネの世界 現る



みなもただでなく、陸上でも千日紅やコスモスなどいろんな花が咲き乱れている。眺めるだけで心が安らぎ、忙しい毎日に彩りを。

とんでとんでとんぼ

夢想花ならぬ夕焼けこやけ

ひと昔なら、子どもの自然遊びと言えばトンボを捕まえること。今どきの都会



つ子には、童謡歌ったところで赤トンボがなんのことかすらサツパリわからない。赤トンボは発見率低めだが、ここ小日台ビオトープなら、かなりの確率でトンボに出会えるので、楽しみにいらつしやい。